

# 令和4年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育 目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒はそれほど多くはない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日
令和5年2月21日
学校関係者評価実施日
令和5年2月21日

学校関係者評価委員会の構成
PTA役員

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価					学校関係者評価		総括
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策	
1	遅刻をしない	時間遵守を呼びかけ生徒同士でも注意し合う。遅刻をする生徒に関しては、家庭と連絡を取り合い対処法を面談等で話し合う。安心して学校に来られるように全教員で声掛けをする。授業準備の指導を強化し、開始前に準備を済ませ待つ体制をとれるようにする。休み時間の巡回等を必要に応じて行う。	クラスによって差はあるものの概ね遅刻せずに登校しており、遅れそうな時に連絡を入れる生徒もいた。3年生は特に進路を意識して行動していた。授業準備ができていない生徒、チャイムが鳴っても着席していない生徒がおり時間を守る意識の甘い面が見られた。	B	「雨の日も雪の日も生徒が頑張って登校している姿が見られて良い」「登校時間を過ぎて歩いている生徒は見かけない」「家庭でも時間遵守の姿勢が感じられる」「本人のペースを守りながらも時間を守ることを身につけられれば」「何事も余裕を持って行動するように意識することが大事」	一部の生徒の遅刻に対しては担任による個別指導や家庭との連携、教員の声掛けや生徒指導部の指導など継続していく。悪天候の前日にとるべき行動を提示し遅刻の未然防止に努める。授業の前後で後片付けや次の準備の声掛けをしていく。	
	さわやかな身だしなみ	服装指導を朝・帰りのHR、授業前に行う。生徒会とも連携を図り生徒同士が服装についても注意し合う。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し理解を深めていく。	服装が乱れている生徒はほとんどいなかった。たまに第一ボタンが外れていたたりネクタイやリボンがきちんとつけられていない生徒はいた。ワイシャツの袖や襟、ズボン等の汚れが目立つ生徒や、寝ぐせがある、爪が長いなど清潔感に欠ける生徒が一部見受けられた。	A	「身だしなみに気を配る事ができている」「バスで見かけても服装はさほど乱れていない」「ワイシャツを出して歩いている生徒を見たことがある」「生徒同士が服装について注意し合うとあるが言いにくいのでは。かなり難しそう」「清潔感のある生徒とそうでない生徒の差があるように感じる」	清潔感に気を配ることの大切さを理解してもらおう、保健や進路指導、家庭科の授業等でも指導していく。教員が登校時やHR、授業で服装を確認しその都度直させる。家を出る前にセルフチェックすることを家庭にもお願いし連携していく。	
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラー(SC)間で生徒の情報を共有し、組織的支援体制をつくり、話し合う場を設けて即応する。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導していく。定期的にいじめアンケートをとる。観察シートを記入する。生徒が相談しやすい環境づくりをする。必要に応じてチームティーチング等を行う。	教員や各部署、学年会議等からの情報提供により、全教員で情報を共有し相談や指導が行うことができた。何かあればその都度面談や対話を行い、スクールカウンセラーと繋がり、家庭とも連絡・相談しながら指導を行った。チームティーチングなど必要に応じた指導を適宜行った。	A	「子供は楽しく学校生活を送っているようなので安心している」「何かあれば連絡があり学校に行くといろいろな先生が声を掛けてくれ安心して通わせている」「子供から、先生方が優しく親身になり話を聞いてくれていると聞いている」「いじめは表面化しにくくデリケートな問題。早期の気付き、対応を期待している」	生徒の様子をよく観察し、声掛けや対話しながら見守っていく。家庭とも連絡を取り合っていく。集団生活のあらゆる問題に対して考えさせていく啓発活動にも力を入れる。学年会議・職員会議等で教員、講師、SC間で情報を共有し、何かあれば即応できるようにする。	
2	きれいな校舎	掃除の時間は教員がつき、掃除の仕方や注意点等を指導し細部にまでこだわる目を養う。使用する人の気持ちを考え丁寧な掃除を習慣化する。開始・終了時間を意識し時間内に終わらせる。責任・協働・奉仕・忍耐などの心を育てる。クリーンアップ作戦を確実に実行し地域への奉仕意識を高める。	普段の掃除でさぼる生徒はほとんどいない。追加の作業を快く引き受けたり他を手伝う習慣が身についた生徒もいる。その一方で集中力が続かない生徒もいる。細部まで行き届いておらず、綿ぼこりがたまっておりなど汚れが目立つ箇所もあった。	B	「校舎や周囲もきれいで掃除がいきわたっている」「面談する部屋の床にはほこりがたまっていたので注意」「クリーンアップ作戦を通じて地域への奉仕意識を高めてほしい」「雪が降る中サッカー部員が除雪をしていて好感が持てた」「花壇の除草作業を保護者にも協力を求めていると思う」	おもてなしの心を持ち使う人の気持ちになり清掃する。外部のお客様が来る時はより一層気配りをする。責任感を育てるため、委員会を活用し清掃の方針や清掃の仕方・注意点、時間等を説明する。掃除チェック表に印をつけるなど工夫する。	
3	元気な挨拶	学校全体として笑顔で爽やかな挨拶をする雰囲気は教職員・生徒一緒につくっていく。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面でお辞儀等の作法も含めて指導し、進路を意識した生活を心がける。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。お客様が来校した時にはさらに積極的に挨拶する。	大きな声で挨拶できる生徒、会釈のできる生徒が運動部を中心として多数いるが、声小さく声を出すのが苦手な生徒もいる。授業の号令時に元気な生徒に紛れて挨拶をしない生徒がいる。職員室を正しく入室できていない生徒がいる。	B	「いつ学校へ訪問しても笑顔の挨拶をもらっている」「挨拶運動の時恥ずかしがっている生徒が多かった。声の小さめな生徒がいたが大きな声で挨拶する生徒も沢山いた」「学校全体でもっと明るくはつらつと挨拶してほしい」「元気な挨拶を聞くとこちらも元気をもらった気持ちになる」	挨拶の大切さを事あるごとに説明し一人ひとりが心がけていく。授業や朝礼時の挨拶の声出しやお辞儀が不十分な場合はをやり直させたりする。教職員から積極的に声を出し、教職員と生徒一丸となって挨拶をする雰囲気作りをしていく。	